

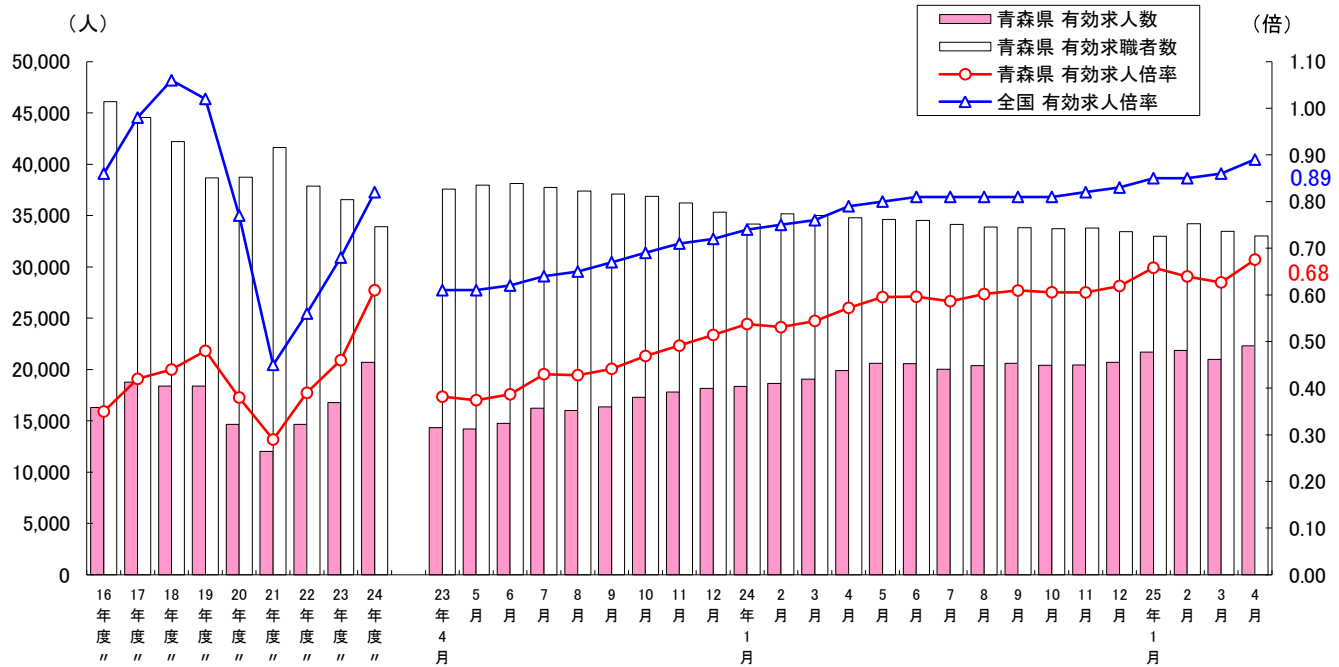
最近の雇用情勢について

(平成25年4月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

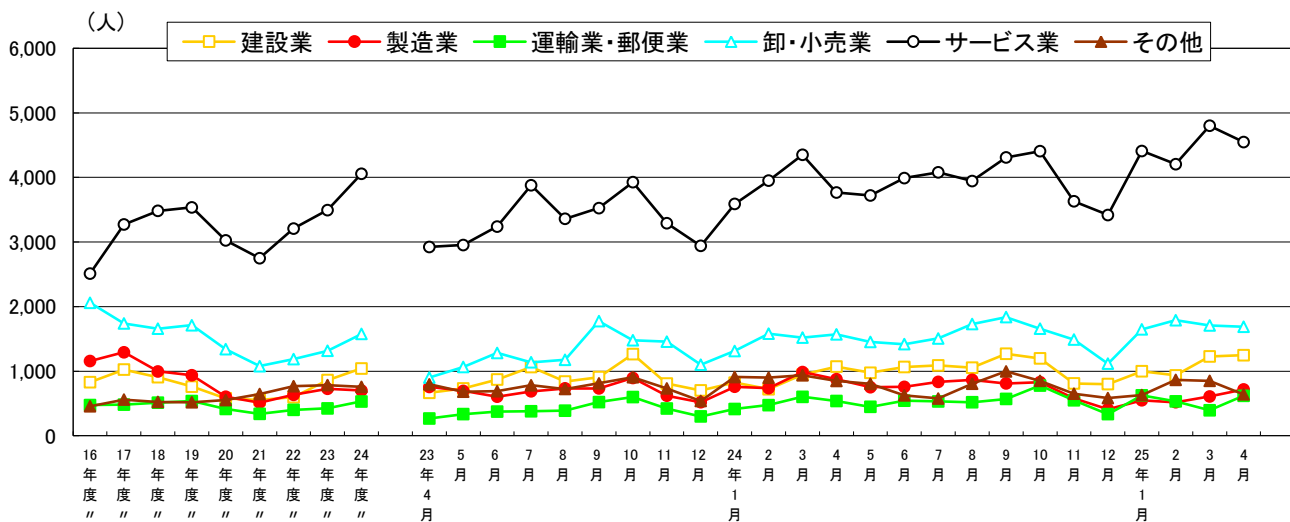
4月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ6.3%増加の22,302人、有効求職者数(同)は1.4%減少の33,010人で、有効求人倍率(同)は前月を0.05ポイント上回る0.68倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

4月の新規求人(原数値)は前年同月比9.1%(789人)増加、前月比1.4%(130人)減少の9,459人。

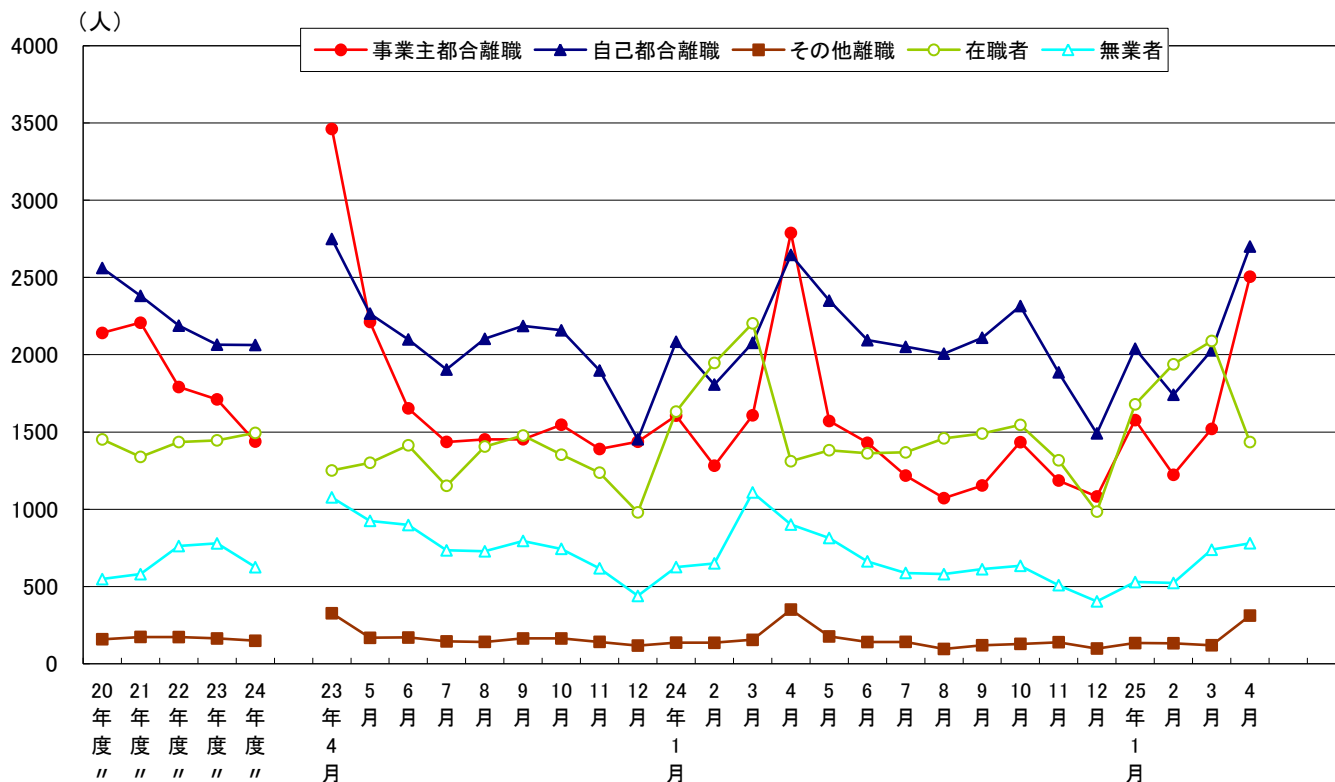
産業別に前年同月と比較すると、建設業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、サービス業等で増加し、農、林、漁業、製造業、金融・保険業、不動産業、物品賃貸業、教育、学習支援業、複合サービス事業、公務・その他等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、印刷・同関連業、窯業・土石製品製造業等で増加し、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学、石油・石炭製品製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等では減少となった。



平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

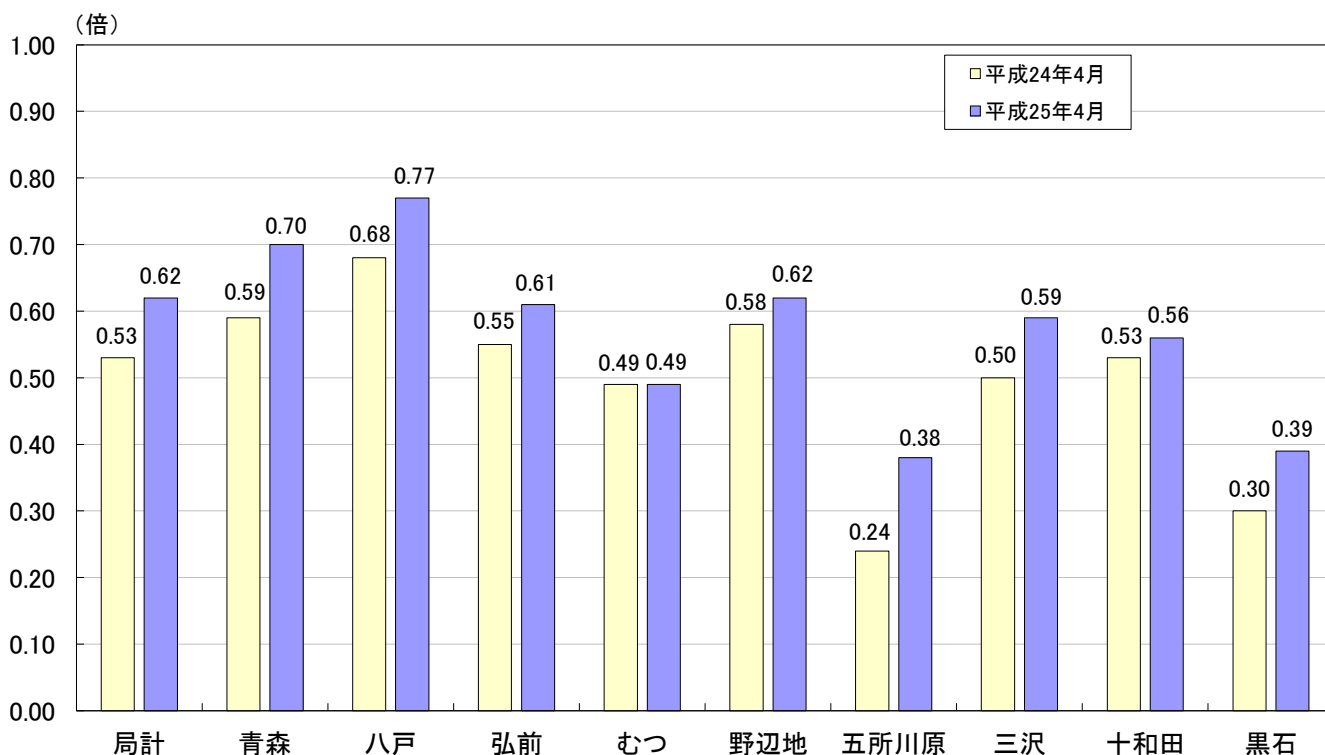
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

4月の新規求職者数は、前年同月比3.3% (265人)減少、前月比19.0% (1,237人)増加の7,732人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は9.5% (124人)増加し、離職者は4.6% (268人)の減少、無業者も13.4% (121人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は10.2% (283人)の減少、自己都合は2.0% (54人)の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

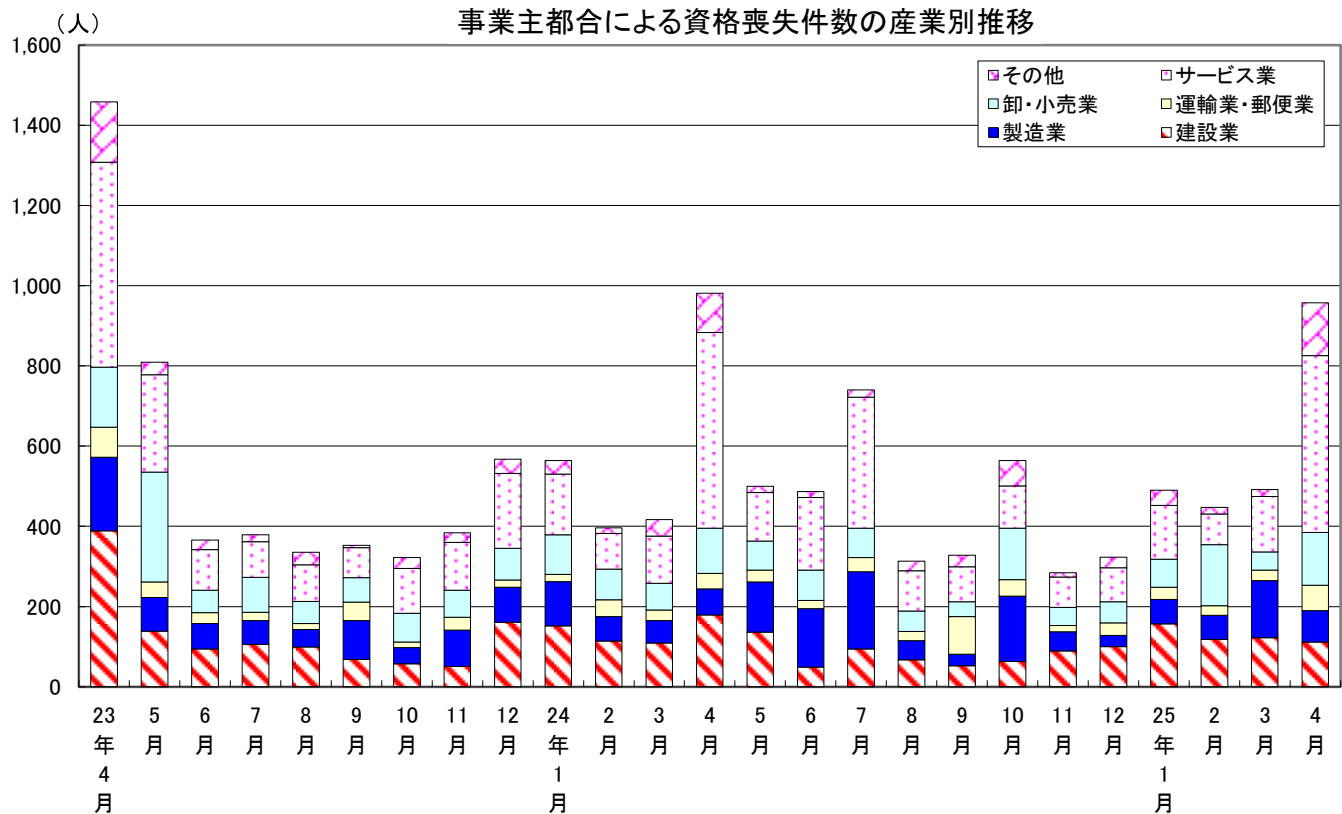
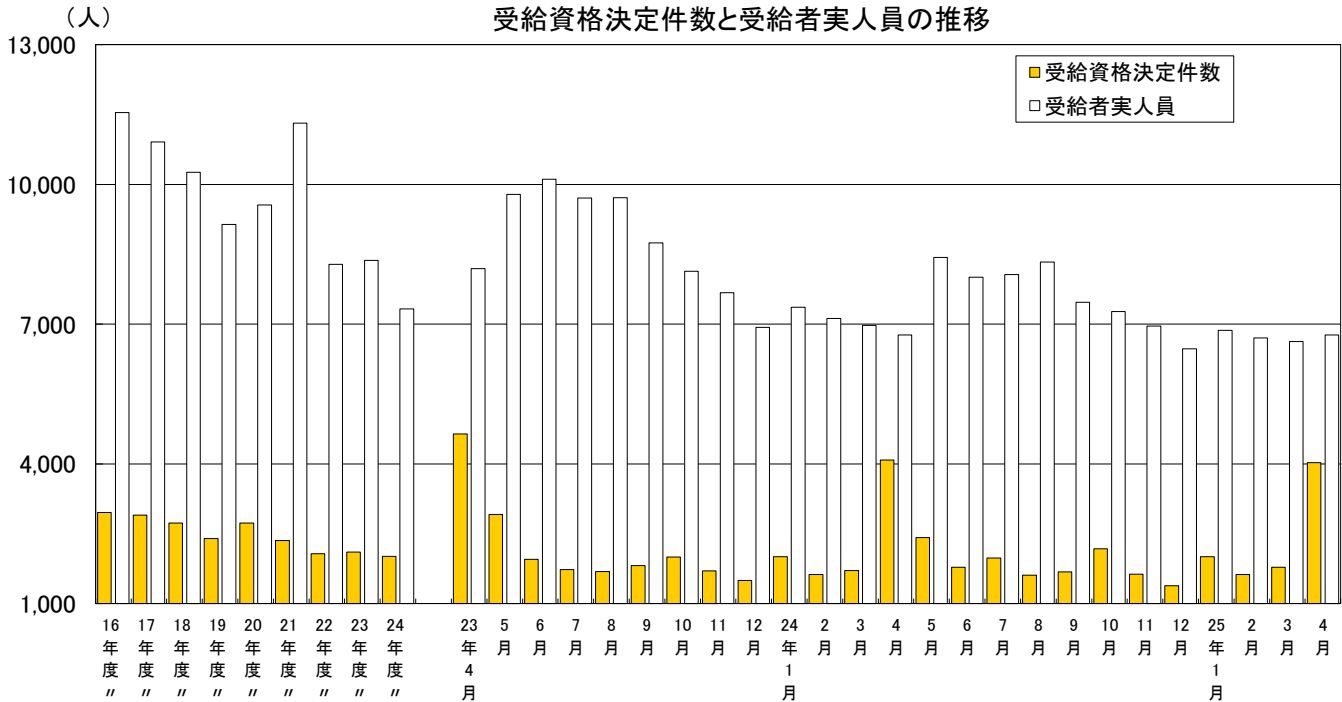
4月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.62倍となり、前年同月を0.09ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

4月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月と同数で、前月比では2.1%（141人）増加の6,767人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.4%（56件）減少、前月比では125.8%（2,243件）増加の4,026件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比2.4%（24人）減少、前月比94.5%（465人）増加の957人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。